

“DIGUARD NET”対応統合ID管理サーバを用いた 情報システム・入退室管理システム連携ソリューション

近藤誠一* 伊藤英明†
堀 辰也**
池田健一郎***

Information Systems and Physical Access Control Systems Integrated Solution Using ID Management Server with “DIGUARD NET”
Seiichi Kondo, Tatsuya Hori, Kenichiro Ikeda, Hideaki Ito

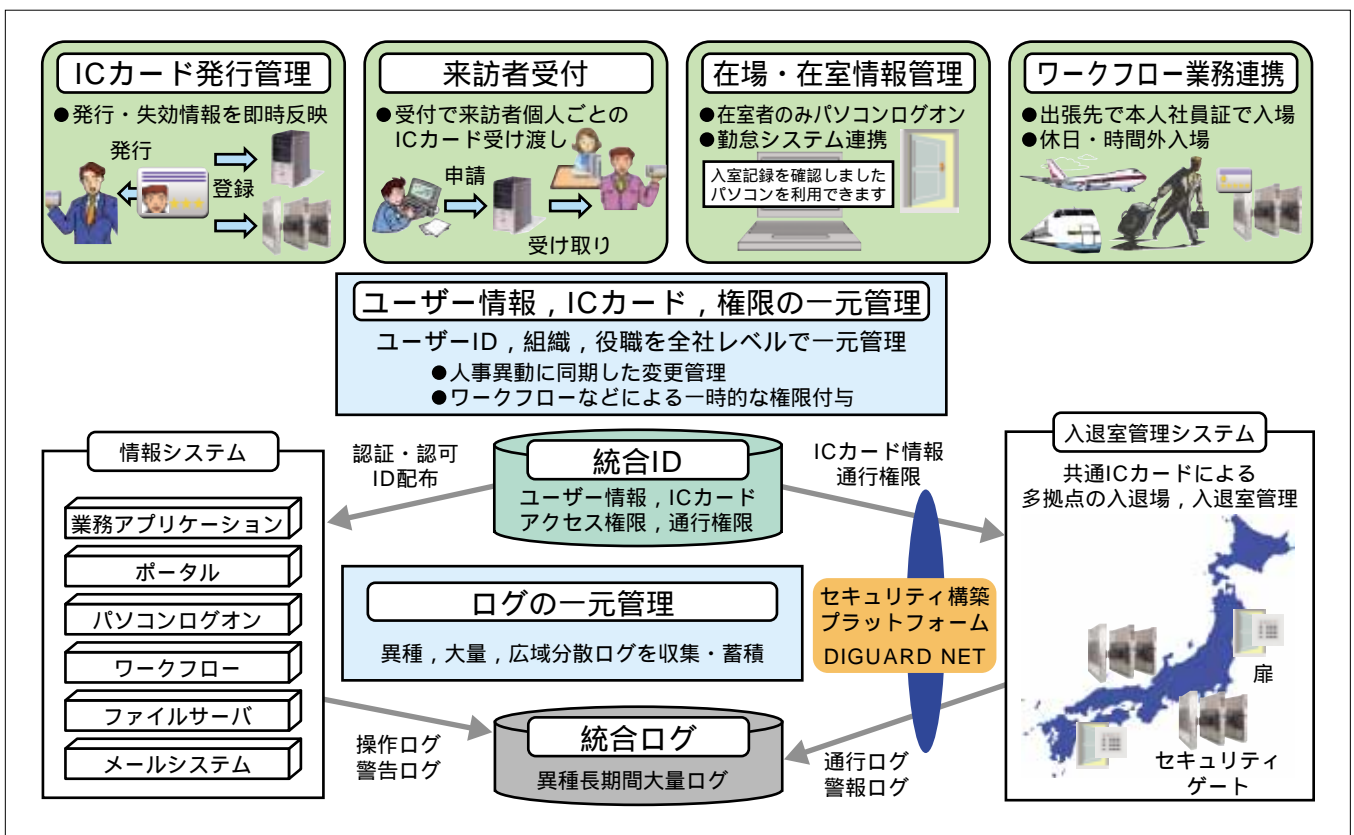
要 旨

増加、多様化するセキュリティ脅威に対して、ユーザー認証、アクセス制御、ログ監査などの情報システムを対象としたセキュリティ対策や、人の通行を物理的に制限する入退室管理システムなどの導入が進められている。情報システムにおけるなりすまし・不正防止のための在席状況の確認や、情報システムで変更管理する人事情報と連動した入退室管理システムの通行権限自動設定といった相互連携が、セキュリティ向上、運用性向上、内部統制強化につながる。しかし、一般に、入退室管理システムを含む設備管理と情報システムは独立して構築、運用されているため、連携システム導入には、個別に対応する必要があった。

このような問題を解決するため、ユーザー情報、ICカ

ード情報、権限情報などの“統合ID”と、情報システムの操作ログ、入退室管理システムの通行ログなどの“統合ログ”を一元管理し、三菱電機標準のセキュリティ構築プラットフォーム“DIGUARD NET(ディガードネット)”を利用して、データ収集・変更管理・情報提供を行う情報システム・入退室管理システム連携ソリューションを開発した。

連携ソリューションとして、人事システムと連動したICカード発行管理、来訪者向けに一時的なICカードを即時発行する来訪者受付、在室者のみにパソコンログオンを可能とする在室管理、及び、出張者、休日出勤者等に一時的な権限を与えるワークフロー業務連携などを提供する。



情報システム・入退室管理システム連携ソリューション

ユーザー情報、ICカード、権限、ログを、情報システムと入退室管理システム間で一元管理し、DIGUARD NET を利用してデータ収集、変更管理、情報提供を行う連携ソリューションを提供する。その結果、認証手段であるICカードの共通利用、変更管理の局所化・即時化、統合ログ管理によって、利便性向上、安全性向上、運用性向上を実現する。